

日本語教育における 「きょうだい」表記について

阿部 咲良

1.はじめに

日本語教育において「きょうだい」という親族語彙は、日本語能力試験におけるN1～N5のレベル分けのN5に分類される。N5は基本的な日本語をある程度理解することができるレベルであり、「きょうだい」は早い段階で学習する語彙である。一般的に「きょうだい」の漢字は、兄と弟で構成される兄弟の表記で想像されるが、表記の仕方が複数存在する。例えば、目覚ましい活躍をしている卓球の張本智和選手には妹がおり、2人を張本兄妹と表記するメディアは少なくない。また、2021年7月25日の東京オリンピック柔道競技において、阿部一二三選手と詩選手が金メダルを獲得した。2人は兄と妹の関係で、兄妹がオリンピックにおいて同日金メダルを獲得するという快挙を成し遂げ、「阿部兄妹」として脚光を浴びた。張本兄妹、阿部兄妹、2組の「きょうだい」表記に着目すると、兄と弟だけではなく、兄と妹でも「きょうだい」という表記が用いられている。勿論、姉と弟でも同様である。このように、日本社会では「きょうだい」の表記が兄と弟に限定されておらず、構成によって表記が変わる。また、「きょうだい」が2人以上で性別が男と女で混ざっている場合はさらに表記が増える可能性がある。日本社会での使用方法に則ると、日本語を学ぶ学習者は初級の語彙「きょうだい」でも多数の表記を理解し使い分けをしなければならない。

そこで本稿では、日本語教育と日本社会での「きょうだい」表記の使われ方を明らかにしたうえで、改めて日本語教育の中での「きょうだい」表記をどのように扱っていくべきかを検討していく。

2.先行研究

2-1. 「きょうだい」の定義

前述の通り、兄弟、兄妹、姉弟と様々な「きょうだい」表記が日本社会で使用されている。では、本来の「きょうだい」の定義は何か。ここでは辞書をもとに、「きょうだい」の本来の意味や使われ方、つまり定義を調べるこ

とで、辞書的に定義づけられている「きょうだい」とは何かを確認する。

『日本国語大辞典 第二版 第四巻』では、「きょうだい」を「同じ父母から生まれた子どもたちを、男女の別に関係なくいう。また、その子どもたち同士の関係をもいう。兄弟姉妹。」と定義づけている。よって、兄と弟で構成される「兄弟」は、定義から言えば「兄弟」だけでなく「兄妹」、「姉弟」、「姉妹」を含む「兄弟姉妹」を表すのである。表記に関しては、『学研 現代新国語辞典 改定第六版』において、「兄妹」「姉妹」「姉弟」と書いて「きょうだい」と読ませることもあるとしている。現代社会で、兄と妹でも「きょうだい」、「兄弟」と表記するのは定義に則っているのである。

今日の日本では男女の別なく「きょうだい」を用いるが、過去においてはどうか。『古典基礎語辞典』によると、上代では異性が同性か、年齢が上か下かで呼び分けられていた。

「せ」「いも」は、きょうだいが異性の場合に使われる。年齢の上下は考慮されずに、姉から弟、妹から兄という、女性のきょうだいから男性のきょうだいを「せ」と呼び、兄から妹、または弟から姉という、男性のきょうだいから女性のきょうだいに対しては「いも」を使う。

同性のきょうだい間では年齢の上下が考慮され、「え」「おと」で使い分けをする。弟から兄、妹から姉という、年下から年上のきょうだいをいう場合は、いずれも「え」（兄）と言う。反対に兄から弟、姉から妹という、年上から年下のきょうだいをいう場合は、いずれも「おと」（弟）が使われる。

中世以降になると、今日と同様の兄弟姉妹関係の呼称体系となった。また、『類語新辞典』では、「え」「おと」が男女の性別に関係なく年上と年下をいうことから、「兄弟姉妹」を「兄弟」というようになったとしている。

2-2. 「きょうだい」の他国との比較

薛鳴（2000）は日中の親族名称を比較し、対照研究の視点から中国人と日本人の親族名称の使用状況を考察したものである。

日本語の「きょうだい」は「きょうだいは何人か」と質問された際に、自己を含めた「3人」と答えたとすれば、自己以外の二人について、性別、年齢の上下は明示されない。ここから「きょうだい」という語は、兄、弟、姉、妹のいずれかを表すことも、自己を含めた全体を表すことも可能である集合概念としている。

一方で、中国語は同じ内容の質問をする場合、「你有几个兄弟姐妹？」のように「あなた以外、何人の兄弟姉妹がいるか」と具体的に聞かなければならない。これは中国語に日本語の「きょうだい」に相当する名称が無いからである。英語の場合も「sister and brother」となるが、この「sister」や「brother」は年齢の上下が明示されていない。日本語の「きょうだい」に集合概念があるのに対して、中国語も英語も「きょうだい」に相当するような包括的な概念が欠如していることが分かる。また、それに関連して「兄、弟、姉、妹」というそれぞれ個別概念においては、英語では常に性別を気にして、日本語と中国語では常に年の上下を意識するとしている。

小森（2002）においても、親族語彙は社会、文化的背景の違いから生じた意味領域があり、それぞれの社会においてその用法、概念の区別の仕方に違いを認めている。その例として、日本語の「兄弟姉妹」がこの漢字と対応するかたちで4つに区分されるが、英語では'brother' 'sister'と2つに分けられることを挙げている。そして、このような親族語彙の指導や定着の仕方について日本語教育の大切な課題だと主張している。

3. 調査目的

以上の先行研究から、辞書的な「きょうだい」の定義、日本語と二か国語の「きょうだい」の具体的な用法、概念の区別の違いが明らかになった。しかし、親族語彙という大きな枠組みの先行研究は多数見受けられるものの、「きょうだい」という1つの語彙に焦点を当てた日本語教育分野の研究は管見の限りないことを確認した。また、日本語教育に限らず日本社会での使用実態に関する研究も同様であり、先行研究の書かれた年代が古く、数も少ないことから、現代社会の実情により近い研究結果を得るための調査が必要である。

以上のような問題意識から、本研究では以下の研究課題を立てた。

課題：日本語教育において「きょうだい」表記をどのように扱うべきか。

この課題を検討するために、4つの調査を進めることとした。

- ①日本語教育において「きょうだい」表記をどのように扱っているのか。
- ②学習者は「きょうだい」表記に対してどのような意識や考えを持っているのか。
- ③母語話者は「きょうだい」表記をどのような意識で表記するのか。

④日本社会では「きょうだい」表記がどのように使用されているのか。

4.調査

4-1.日本語教科書分析

日本語教育での「きょうだい」の使用実態を明らかにするために、日本語教科書の分析調査を行った。

4-1-1.方法

日本語教科書中で確認できる「きょうだい」の表記、教科書中の使われ方、意味、この3項目に分けて分析した。また、分析の対象として以下の6種類の教科書を取り上げた。

- ・『みんなの日本語初級 I 第2版 本冊』（スリーエーネットワーク）以下、『みんな日』
- ・『げんき 第3版発行』（ジャパントイムズ出版）以下、『げんき』
- ・『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 かつどう』（三修社）
- ・『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 りかい』（三修社）以下、『まるごと』
- ・『できる日本語』（アルク）以下、『できる日本語』
- ・『改訂版 毎日使えてしっかり身につく はじめよう日本語初級1 メインテキスト』（スリーエーネットワーク）以下、『はじめよう日本語』
- ・『BASIC KANJI BOOK—基本漢字500— VOL.1』（凡人社）以下、『基本漢字』

「きょうだい」は学習の早い段階で出てくる語彙であるため、初級学習者用の教材を選定し、その中でも比較的多くの日本語教育現場で使用されているものを分析の対象とした。『基本漢字』に関しては、総合教科書以外に漢字学習教材で「きょうだい」の扱われ方を調査するために選んだ。

4-1-2.結果と考察

教科書分析の結果を以下の図表1にまとめた。

図表1 教科書分析の結果

教科書	みん日	げんき	まるごと (りかい かつどう)
表記	兄弟	兄弟	きょうだい
教科書中の使われ方	①例文 兄弟は何人ですか。 4人です。姉が2人と兄が1人います。 ②聴解問題のスクリプト 女：兄弟がいますか。 男：ええ、妹が1人います。学生です。	①単語一覧 に掲載 兄弟	①問題 (りかい) ただしいことをえらびましょう。 あに・あね・おとうと・いもうと 答え きょうだい ②かつどう きょうだい (家系図 あに あね わたし おとうと いもうと)
意味	brothers and sisters	brothers and sisters	brothers and sisters

教科書	できる日本語	はじめよう 日本語	基本漢字
表記	兄弟	兄弟	兄弟
教科書中の使われ方	①会話文 A：Bさん、兄弟がいますか。 B：はい、姉が1人います。 ②指示文 自分の兄弟・家族・友達に住んでいるところや仕事などについてクラスメイトと話しましょう。	①語彙一覧 に表記 ご兄弟	①漢字の書き方 「兄」「弟」の熟語例 兄弟 ②問題 漢字の読み 主人は兄弟が少ないです
意味	Brothers and sisters	siblings	brother *兄弟と書く問題では brothers (and sisters)

確認された「きょうだい」表記は【兄弟】と【きょうだい】のみで、【兄弟】に限らない「きょうだい」表記に関する説明は確認されなかった。

教科書中の使われ方は、『みん日』のように文法の例文や聴解で使われたり、『げんき』『はじめよう日本語』のように語彙のみで載っていたり、教科書ごとに様々である。しかし、意味に着目すると「brothers and sisters」が多いことが分かる。『はじめよう日本語』の「siblings」も男女の別なくいう「きょうだい」を意味する。『基本漢字』においても、兄弟の漢字を書く練習で、「brothers (and sisters)」という訳が付いていた。つまり、どの教科書においても【兄弟】(きょうだい)を兄弟姉妹という意味で使用しているのである。教科書での使われ方でも、問題や例文で「きょうだい」が男女を含むことを示すように設定されているものが多い。例えば『みん日』の練習問題では、Aから兄弟の人数を問われたBが、「4人です。姉が2人と兄が1人います。」と男女を含む「きょうだい」構成を答えている。

4-2. 学習者調査

学習者に対して、どの「きょうだい」表記を学習してきたかや「きょうだい」表記への考えを明らかにするためにアンケート調査を行った。

4-2-1. 方法

学習者から回答を得るために、国内外の日本語教育に携わる大学に協力してもらった。国内では東京のM大学の上級入門クラス、国外は韓国S大学日本文学講読クラス、K大学の上級会話クラスである。M大学は、2021年11月10日(水)の授業の日にZOOMで参加し、アンケート調査の概要を説明して、質問を受けながらその場でGoogleフォームに回答してもらった。S大学とK大学には、Googleフォームを送り回答に協力してもらった。

アンケート調査はまず学習者の性別、国籍、年齢を聞いた。そして、これから「きょうだい」表記について質問することを説明し、①「日本語の授業で習った『きょうだい』をぜんぶえらんでください。」という質問を設定した。回答形式をチェックボックスとし、「兄弟、姉弟、兄妹、姉妹、きょうだい」の中で当てはまるものを全て選べるようにした。次に②で「『きょうだい』表記で困ったこと、難しいと思ったことはありますか。」とし、あると答えた人に、③「『きょうだい』表記で困ったこと、難しいと思ったこと

を教えてください。自由に書いてください。」という質問への回答を求めた。

4-2-2.結果と考察

アンケート調査では、50人から回答を得た。50人の内、男性が24人、女性が24人、無回答が1人である。学習者の国籍は韓国が44人、アメリカが2人、日本が2人¹、台湾/シンガポールと記述する回答が1人、中国が1人であった。回答者の年齢は20代が46人、10代が3人、1人が40代である。

学習者が習った「きょうだい」として【兄弟】が最も多かった。50人の回答者のうちの47人（94%）が答えていたので、ほとんどが【兄弟】を習っていることになる。また、【きょうだい】も28人（56%）の回答があったので、半数以上が学習していることが分かった。一方で【姉妹】、【兄妹】、【姉弟】の回答は【姉妹】と【兄妹】が14人（28%）、【姉弟】が15人（30%）に留まったので、習っている学習者は一部であると言える。

学習者が習った「きょうだい」の組み合わせとして多かったのは、【兄弟】が14（28%）、「兄弟、きょうだい」が12（24%）、「兄弟、姉弟、兄妹、姉妹、きょうだい」が7（14%）であった。他にも様々な組み合わせがあったが、複数回答で多い組み合わせはこの3つである。また、学習者が習った「きょうだい」表記の組み合わせが13パターンあったことから、教育現場で指導される「きょうだい」表記は統一されていないことが分かる。これはつまり、学習者間で「きょうだい」表記の認識に差が生じている状態であると考えられる。

次に、②「『きょうだい』表記で困ったこと、難しいと思ったことはありますか。」の質問で「ある」と答えた学習者は16人（32%）であった。その回答では、「きょうだい」表記の多さから使い分けが分からないとする記述が目立った。例えば、学習者が姉で、弟との関係を【姉弟】と【兄弟】と【きょうだい】、どれで書くべきかを迷うという回答があった。また、「きょうだい」を【兄弟】と習ったことから、兄と姉のうち、姉をどうやって説明するか困るとの記述も見られた。

表記以外にも、【姉弟】、【兄妹】も「きょうだい」と呼ぶことから、実際に「きょうだい」と聞いても【姉弟】なのか【兄妹】なのかが分からないと

¹ 1人はシンガポール国籍の期限付きと記述

いう、聴解上の疑問の声があった。

4-3. 母語話者調査

母語話者が日頃、「きょうだい」をどのような意識で表記するのかを明らかにするためにアンケート調査を行った。

4-3-1. 方法

Google フォームを利用した。対象者は、多くの回答を得るために性別、年代、職業などの条件を限定せず、家族、ゼミの先生、友人とその家族、アルバイト先のスタッフに協力をお願いした。調査期間は2021年8月1日～10月までの2か月間である。

アンケート調査で設定した質問と、質問の提示順は以下の図表2の通りである。

図表2 アンケート調査項目一覧

1.きょうだいはいますか。
2.「きょうだいがいる」を選択した人に質問
①あなたのきょうだい構成を例のように表記して教えてください。例（兄、自分、弟）
②あなたのきょうだい構成を漢字、またはひらがなを用いて表記してください。必要であれば数字を使っても構いません。例（兄弟、兄妹、姉弟、姉妹 3兄弟 等）
③②のように表記した理由を教えてください。
3.①7月25日に東京オリンピック柔道競技で、男子66キロ級の阿部一二三選手と女子52キロ級の阿部詩選手が金メダルを獲得しました。阿部一二三選手は兄で、阿部詩選手は妹です。二人の関係性をどのように表記しますか。 *「きょうだい、兄妹、兄弟、その他」から選択
②①で選んだ表記の理由を教えてください。
4.サザエさん一家の「きょうだい」表記 これからサザエさんの家系図の一部を示します。家系図を見ながら質問に答えてください。
①(1)の関係性をどのように表記しますか。 *(1)はサザエとカツオの関係性。「きょうだい、姉弟、兄妹、その他」から選択。

②①で選んだ表記の理由を教えてください。
③②の関係性をどのように表記しますか。 * (2)はカツオとワカメの関係性。「きょうだい、兄妹、姉弟、その他」から選択。
④③で選んだ表記の理由を教えてください。
⑤③の関係性をどのように表記しますか。 * (3)はサザエとカツオとワカメの関係性。
⑥⑤のように表記した理由を教えてください。
5.「きょうだい」表記で困ったこと、思ったことがあれば、自由に記述してください。

1で回答者にきょうだいの有無を聞き、2で「いる」と答えた人に自分のきょうだいの構成と表記をどう表すかを尋ねた。また、表記した理由を聞くことで回答者自身の「きょうだい」表記についての意識を分析した。

3以降でも表記の理由を聞き、回答の仕方は選択式から選ぶ方法を取った。3は、多くの場面で目にすることが多かったと想定して阿部一二三選手、詩選手の兄と妹の関係性を用いて、どのような理由でどのように表記をするのかを明らかにした。

4では、簡易的なサザエさん一家の家系図を回答者に見せながら、サザエ、カツオ、ワカメの3人の関係性を用いて姉と弟、兄と妹、そして姉、弟、妹をどのように表記するのかを探った。特に、姉、弟、妹は3人以上でかつ「きょうだい」構成が男女を含むので、様々な表記の仕方が見られると予想して記述式にした。サザエさんを用いた理由は、認知度が高い国民的アニメなので回答者が答えやすいと考えたからである。

最後の5では、回答者が日常的に「きょうだい」表記で感じていることを調査するために設定した。

4-3-2.結果と考察

回答を得たのは42人であった。男性が6人、女性が36人だった。20代が最も多く27人で、次いで10代が12人、40代が1人、50代が2人である。

4-3-2-1.質問1・2

1.きょうだいはいますか。

2.「きょうだいがある」を選択した人に質問

- ①あなたのきょうだい構成を例のように表記して教えてください。例（兄、自分、弟）
- ②あなたのきょうだい構成を漢字、またはひらがなを用いて表記してください。必要であれば数字を使っても構いません。例（兄弟、兄妹、姉弟、姉妹 3兄弟 等）
- ③②のように表記した理由を教えてください。

1の質問で「きょうだいがいる」と答えたのは、42人のうち39人（93%）だった。

「きょうだい」の構成は、2人の回答者が多く、3人以上になると、「兄、自分、妹」「兄、姉、姉、自分」など、性別や回答者の「きょうだい」における立場によって様々な構成の種類が確認できた。

「きょうだい」の表記は、【兄弟】、【きょうだい】より【兄妹】、【姉弟】表記が多かった。これは、39人の回答者のうち33人（85%）が女性なので、必然的に女性の「きょうだい」が多くなるのは当然であると考えられる。しかし、多くの回答者が男女混合の自身の「きょうだい」構成の表記として【兄妹】、【姉弟】を選択したという見方も可能である。ここから、回答者が【兄弟】、【きょうだい】に限らない表記をしていることが確認できた。

「きょうだい」表記の理由は、「関係」「性別・年齢」「人数」「規範的・一般的な表記」「人数と性別」「分かりやすさ」「その他」の7つの項目に分類した。分類した結果、「きょうだい」の「関係」に着目した理由が15で、最も多かった。主な理由に「姉と妹だから」「兄と妹だから」などがある。「きょうだい」表記と構成は【兄弟】、【きょうだい】表記が無く、【姉妹】や【姉弟】など2人の「きょうだい」構成が多いことに特徴が見られる。

「きょうだい」の「性別・年齢」においても「関係」と同様に【兄弟】、【きょうだい】表記はされていない。

一方で、「規範的・一般的な表記」の理由で表記されたのは、全て【兄弟】または【きょうだい】であった。具体的な理由として、「一般的な表記」や「姉弟できょうだいと読む場合をあまり見かけないため、自分の中で変換する意識がなかった」という回答があった。【兄弟】、【きょうだい】表記が【兄妹】、【姉弟】より世間一般的な表記という認識をしている回答者もいることが分かる。

「人数」を理由とした「きょうだい」表記は、「3兄弟」「5人兄弟」など、

「きょうだい」の構成人数が3人以上と比較的多く、全ての「きょうだい」表記の前に人数を表す数字、または漢数字が付いているのが特徴的である。

「きょうだい」の「人数と性別」に着目した表記は「三姉妹」「4兄弟」の2つである。表記の理由で「兄弟の中では男の方が多いし、自分が女であることをアピールしたいと思わないから」という答えが興味深い。これは「4兄弟（兄、兄、自分、弟）」と答えた回答者の表記理由で、「きょうだい」が2人以上で、かつ、性別が男と女で混合している「きょうだい」構成である。【兄弟】は「兄弟姉妹」を表すので、定義に照らし合わせて表記しても【兄弟】表記は当てはまる。しかし回答者は「きょうだい」構成の男性の多さという人数と、また自分の性を示す必要がないという性別の観点から【兄弟】表記にしたというものであった。

他にも表記の「分かりやすさ」で【姉妹】を【きょうだい】表記をしている回答者がいた。

全体の結果から、様々な考えのもとに回答者は自分の家族の「きょうだい」表記をしていることが分かった。また、回答者が【兄弟】、【きょうだい】に限らない「きょうだい」表記をすることも確認された。一方で、3人以上で男女混合の「きょうだい」構成だと、表記は【兄弟】、【きょうだい】を使う傾向が見られる。さらに、世間一般的な表記という認識であえて【兄弟】と表記する回答があっても、【兄弟】が「兄妹、姉弟、姉妹」を含む「兄弟姉妹」を表すことから、【兄妹】や【姉弟】を【兄弟】と表記する回答は認められなかった。

4-3-2-2. 質問3

- ①7月25日に東京オリンピック柔道競技で、男子66キロ級の阿部一二三選手と女子52キロ級の阿部詩選手が金メダルを獲得しました。阿部一二三選手は兄で、阿部詩選手は妹です。二人の関係性をどのように表記しますか。

*「きょうだい、兄妹、兄弟、その他」から選択。

- ②①で選んだ表記の理由を教えてください。

阿部一二三選手、詩選手の関係性を【兄妹】と表記する回答が40、【兄弟】、【きょうだい】は1つずつであり、2人の関係を【兄妹】と回答する答えが極めて多かった。

表記の理由では【兄妹】表記の回答が非常に多かったので、表記理由を

「関係」「性別・年齢」「分かりやすさ」「その他」の項目に分けた。2の回答と同様に「きょうだい」の「関係」、「性別・年齢」の順に回答が多く、その次に「分かりやすさ」に着目した回答となった。

「関係」を含めて、特に「性別・年齢」、「分かりやすさ」に関しては、回答者が【兄妹】という漢字の字義に影響を受けていると考えられる。例えば、【兄妹】から年齢の上下や、兄と妹という男女の「きょうだい」であることを読み取れる。唯一、何人で構成される【兄妹】なのかが判断できない。しかし今回は、前提条件として「阿部一二三選手は兄で、阿部詩選手は妹」ということを提示しているので、人数は【兄妹】表記で示しているという見方も可能である。また、この質問では2の回答より「分かりやすさ」に着目する回答が多かった。これも【兄妹】の字義によるものであると考えられる。

【兄妹】以外の表記理由では、【きょうだい】は「漢字で表記するイメージがなかったから」、【兄弟】は「普段、『きょうだい』は『兄弟』としか表記していないから」であった。

4-3-2-3. 質問4①・②

サザエさん一家の「きょうだい」表記 これからサザエさんの家系図の一部を示します。家系図を見ながら質問に答えてください。

①(1)の関係性をどのように表記しますか。*(1)はサザエとカツオの関係性。「きょうだい、姉弟、兄妹、その他」から選択。

②①で選んだ表記の理由を教えてください。

サザエとカツオの関係性の表記は、姉弟とする回答が38、【兄弟】、【きょうだい】は2つずつの回答であった。

次に表記理由についてである。回答数が多かった【姉弟】表記は理由を項目ごとに分け、3と同様に「関係」「性別・年齢」「分かりやすさ」「その他」の順になった。【姉弟】表記が3の【兄妹】表記の項目別理由の構成と同じになるのは、【兄妹】と同様に【姉弟】の字義の影響によるものであると考えられる。つまり【姉弟】から【兄妹】と同様に、年齢の上下や、姉と弟という男女の「きょうだい」であることを読み取れる。また、人数も予め2人の「きょうだい」であることが示されているので、【姉弟】表記で示すことができる。

一方で、姉と弟の関係を【兄弟】、【きょうだい】と表記する理由として、【兄弟】表記の伝わりやすさや普段から使用していること、【姉弟】表記が見

慣れないこと、3人以上の「きょうだい」を前提に【きょうだい】表記をしたことが理由として挙げられた。

4-3-2-4.質問4.③・④

③(2)の関係をどのように表記しますか。*(2)はカツオとワカメの関係性。

「きょうだい、兄妹、姉弟、その他」から選択。

④③で選んだ表記の理由を教えてください。

カツオとワカメの関係を【兄妹】、【きょうだい】、【兄弟】と表記する回答を得た。【兄妹】が38、【兄弟】が3つ、【きょうだい】が1つの回答だった。

【兄妹】表記の項目ごとに分けた理由での回答数は、「関係」「分かりやすさ」「性別・年齢」「規範・一般的」「その他」の順になった。3の質問と同じく【兄妹】表記が最も多かったが、項目別理由の構成は異なっている。「きょうだい」表記が共通していても、「阿部一二三・詩選手」、「カツオ・ワカメ」という表記の対象が違うことで、理由項目の「分かりやすさ」と「性別・年齢」の逆転や、「規範・一般的」の有無が見られる。しかし、対象が違うことで新しい理由が出てくるわけではないので、今までの傾向と同じく【兄妹】という字義に影響を受けていると考えられる。

【兄妹】表記以外の表記理由として、【きょうだい】の表記で「複雑だから」があった。確かに、ひらがなを用いることで複雑な「きょうだい」構成表記が可能かもしれない。

これまでの2人の男女の「きょうだい」を表記する際、どの質問でも【兄弟】と【きょうだい】より【兄妹】、【姉弟】表記が多かった。これは【兄弟】、または【きょうだい】で表記するよりも、表記理由にあった「関係」「分かりやすさ」「性別・年齢」が字義により伝わりやすいからではないだろうか。

4-3-2-5.質問4.⑤・⑥

⑤(3)の関係をどのように表記しますか。*(3)はサザエとカツオとワカメの関係性。

⑥⑤のように表記した理由を教えてください。

男女混合かつ3人以上の「きょうだい」構成なので、「サザエ・カツオ」と「カツオ・ワカメ」の「きょうだい」構成より表記の種類が豊富であり、様々な表記の理由が見られた。得られた回答の理由を「表記の難しさ」、「規

「兄弟・一般的な表記」、「漢字表記の難しさ」、「基準の設定」、「性別・年齢」、「兄弟の定義」、「その他」の7つの項目に分けた。

表記は【兄弟】と【きょうだい】が最も多く、「三兄弟」、「3きょうだい」と続く。他にも、「3人きょうだい」、「3人兄弟」、「3兄弟」など、漢字・ひらがな表記、数字・漢数字の有無という違いがあるが、【兄弟】、【きょうだい】を用いた表記が42の回答のうちの33（79%）なので、全回答の3分の2以上の割合を占めている。

表記の理由に着目すると、「漢字表記の難しさ」の記述が多く見られた。例えば、「漢字で組み合わせを示すことができないから」「姉が含まれているため、兄弟に違和感があるから」「3人以上の場合表記が難しいため、ひらがなを頼らざるを得ないと思いました」といった漢字で表記する違和感や、不都合さを理由として挙げている。漢字表記では十分に関係性を表記できないので【きょうだい】、「3きょうだい」、「3人きょうだい」というひらがなで「きょうだい」を表記する回答でこの理由が多い。似た理由で、男女が混ざった3人の関係性を表記すること自体難しいと答える回答も少なくなかった。

表記の仕方として、自ら基準を設ける回答者もいた。具体的には「末っ子を基準にしたから」「サザエからみて、カツオは弟、ワカメは妹なので姉弟妹と表記します」など、1人に焦点を当てて、その人物から見た関係性を表記している。

ほかにも【兄弟】表記をした理由として、「姉・妹も含めた意味で使われていると思うから」「姉や兄や妹が入り混じっている時は男女や構成関係なく兄弟」など、【兄弟】の定義に基づいて表記をしている回答もあった。

質問4の⑤と⑥から、「サザエ・カツオ・ワカメ」という3人以上の男女の「きょうだい」の関係性を表記するとなると、【兄弟】か【きょうだい】表記が最も使用されていることが分かった。表記理由は2人の「きょうだい」では見られなかった「漢字表記の難しさ」や「表記の難しさ」が多く、3人以上の男女の「きょうだい」の関係性を表す難しさを強く感じた。母語話者でも「きょうだい」表記に対して様々な疑問を抱えながら、自分の考えに基づいて「きょうだい」表記をしているのではないだろうか。

4-3-2-6.質問5

「きょうだい」表記で困ったこと、思ったことがあれば、自由に記述してください。

母語話者に向けたアンケート調査の最後の質問で、12人の記述を得た。困ったことについては、3人以上で男女が混ざっている「きょうだい」構成を漢字で表記することが難しいとする回答が多く見られた。その他にも、「きょうだい」表記が様々あることに触れつつどの表記が正しいのかが分からないという悩みもあった。また、【兄弟】が男兄弟のイメージなので「女性」である自分を話すことの不便さを訴える回答も見られた。

母語話者は、3人以上の男女の「きょうだい」表記の仕方や複数ある「きょうだい」表記に対して、疑問や戸惑いなど様々な考えを持っているということが分かった。

4-4.メディア調査

日本社会での「きょうだい」の使われ方を明らかにするために、メディアの「きょうだい」表記を調査した。

4-4-1.方法

以下の2つの調査を行った。

(1) 全国紙である「日本経済新聞」「読売新聞」「毎日新聞」「産経新聞」「朝日新聞」のニュースサイトで、「兄弟、兄妹、姉弟、きょうだい」をそれぞれ検索に掛けた。検索期間を2021年8月11日から2021年9月11日の1か月間とし、その間の検索結果の数と「きょうだい」表記が使われている文をまとめた。そこから、各新聞社でどの「きょうだい」表記がどれくらい使われているのか、新聞全体で「きょうだい」表記がどのように使われているのかを明らかにした。

(2) 「Google」検索を用いて、2021年7月25日に兄と妹で東京オリンピック柔道競技において、金メダルを獲得した阿部一二三選手と詩選手を「阿部一二三 阿部詩」の形で検索した。2人はメディアの注目度も高く、様々なメディアで記事が書かれていると思い、より多くの記事を集められると見越して選んだ。検索期間は2021年7月26日から1週間である。そして、ニュースサイト・新聞社・出版社・テレビ局が作成したウェブ上の記事を対象に、表記

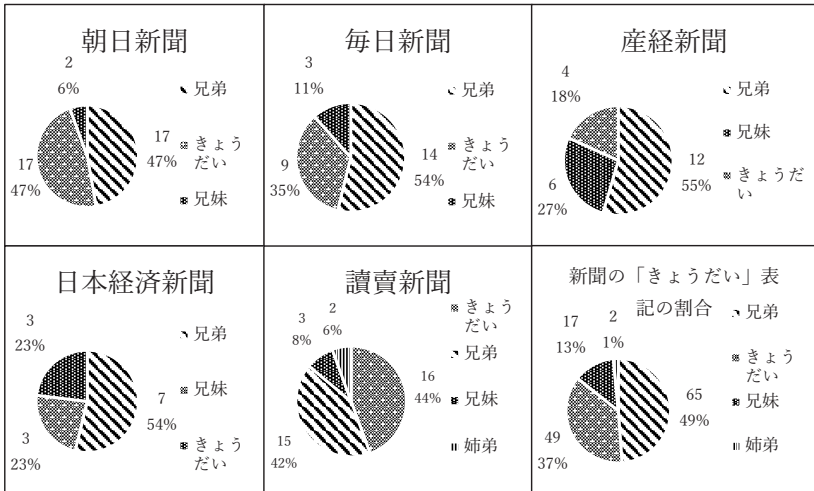
の種類と表記数、見出しと記事中での「きょうだい」表記の比較、「きょうだい」に付属する言葉を調べた。このような方法でメディアの「きょうだい」表記の扱い方や意識を明らかにした。

4.4.2. 結果と考察

4.4.2.1. (1) の調査結果

図表3は、各新聞社の「きょうだい」表記と全体の「きょうだい」表記の割合を円グラフで表し、一覧にしてまとめたものである。

図表3 新聞社の「きょうだい」表記の割合



5社の新聞社中、3社で【兄弟】表記が最も多く、【きょうだい】表記が最も多い新聞社が1社、【兄弟】と【きょうだい】が同数の新聞社が1社である。多くの新聞社で【兄弟】と【きょうだい】表記が多いが、産経新聞は【兄妹】表記が2番目に多かった。【姉弟】表記を確認できた新聞社は読売新聞のみであった。

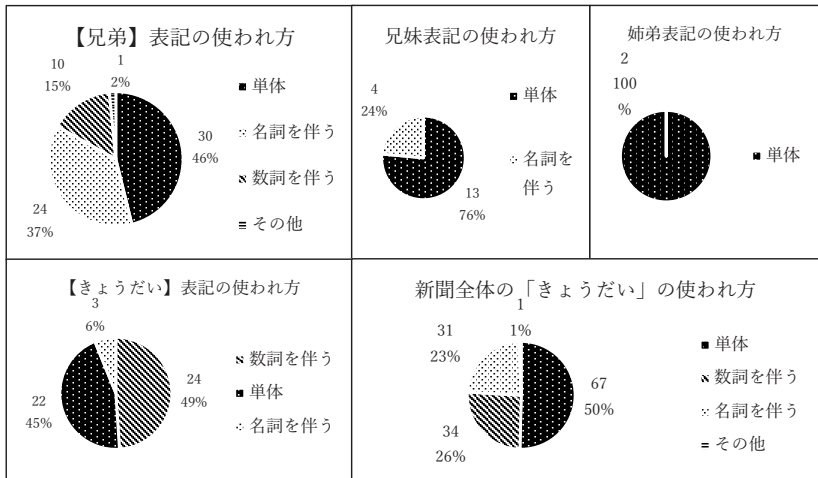
新聞の「きょうだい」表記の結果を見ると、【兄弟】が全体の約半数を占めており、次いで【きょうだい】表記も約3割であることが分かる（図表3）。使用数は少ないが、【兄弟】と【きょうだい】だけでなく、【兄妹】も【姉弟】も使われていた。

言葉自体に兄弟姉妹の意味を含む【兄弟】、【きょうだい】がより多く使われているのは、様々な「きょうだい」の構成を含ませることが可能だからだと考える。例えば、3人以上の男女が混ざった「きょうだい」構成だと、【兄妹】、【姉弟】では表現できないため、【兄弟】または【きょうだい】となる。よって、【兄妹】、【姉弟】が表記数として少ないのは兄と妹、姉と弟という「きょうだい」構成が限定されるからであると考えられる。また、血縁関係の兄弟姉妹を表す以外にも、血縁関係はないものをまるで「きょうだい」同様の関係があることにも使われているので、表記数が多くなった可能性がある。例えば日本経済新聞の「兄弟校」や「兄弟産地」、朝日新聞の「台湾と日本はきょうだいのような関係」などである。

次に、新聞の「きょうだい」表記がどのように使われているのかを明らかにする。記事中の使われ方を使用項目として、単体、名詞を伴う、数詞を伴う、その他の4項目に分けた。

図表4は、各「きょうだい」表記の使用項目割合を円グラフで表し、一覧にしてまとめたものである。

図表4 「きょうだい」表記の使用項目別割合



新聞全体の「きょうだい」の使われかたとして最も多いのは、単体での使用であった（例：兄弟）。次に、数詞を伴う使い方（例：3人きょうだい）、

あまり使用数に違いはないが3番目に名詞を伴う使い方（例：兄弟校）という順となった。

【兄妹】と【姉弟】の共通点は、単体での使用が多い点と、数詞を伴う使い方がない点である。考えられる理由は、前述したように【兄妹】と【姉弟】が兄と妹、姉と弟という「きょうだい」構成の限定的な印象を与え、兄弟姉妹を表す【兄弟】と【きょうだい】のほうが、前後に数詞をつけることで様々な「きょうだい」構成を表現しやすいということである。

【兄弟】と【きょうだい】をグラフで比較すると、【兄弟】は単体での使用割合が最も高く、続いて名詞を伴う使い方（例：兄弟産地）が来て、3番目に数詞（例：兄弟2人）の順番となっているが、【きょうだい】は数詞を伴う形（例：4きょうだい）での使用割合が最も高い。ここから【きょうだい】は「きょうだい」構成が複数の場合、【兄弟】より使用が多いことに違いが見られる。【兄弟】に数詞が付くのが【きょうだい】より少ないのは、同じ兄弟姉妹の意味を持つものの、【兄弟】の字義による影響で兄と弟のイメージを与えやすいからではないか。よって、メディアが男女混合の3人以上の「きょうだい」関係を表記するのなら、【兄妹】・【姉弟】のように「きょうだい」関係を限定せず、【兄弟】のように字義の影響を与えず、様々な「きょうだい」構成を含ませることが可能なひらがなの【きょうだい】が好まれると考えられる。さらに【兄妹】・【姉弟】に言及すると、男女混合の3人以上の「きょうだい」関係を【兄妹】・【姉弟】を用いて表記する場合、必ず1人に焦点を当てて、その人物の目線から関係性を表すことになる。しかしメディアには公共性が求められるので、主観的ではなく第三者の客観的な立場から表記するのが適切であろう。その点、ひらがなの【きょうだい】は読み手に与える字義の影響を考慮する必要が無く、基準を設けず「きょうだい」の総称として用いることが可能である。したがって、メディアが多様な「きょうだい」関係を伝える際に、最もひらがなの【きょうだい】が読み手に誤解を与えない表記であると考えた。

4.4-2.2. (2) の調査結果

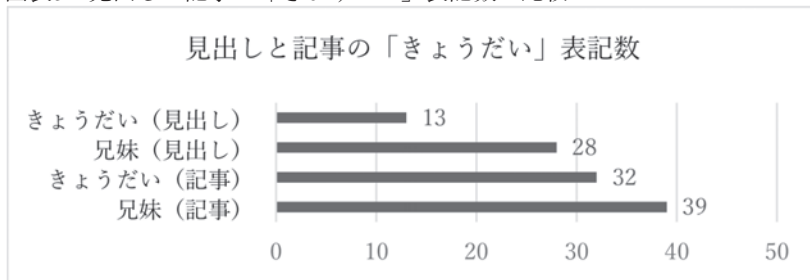
調査対象となったメディアの媒体数は30である。

阿部一二三、詩選手の関係性を表す表記は【兄妹】と【きょうだい】の2つのみであった。表記数は、総数が112の中で【兄妹】が67（60%）、【きょう

だい】が45（40%）だった。

図表5では、見出しと記事の【きょうだい】と【兄妹】の表記数を比較した結果を表した。

図表5 見出しと記事の「きょうだい」表記数の比較



見出しでも記事でも、【きょうだい】表記より【兄妹】表記が多いことが分かる。

次に、見出しに【兄妹】、【きょうだい】のどちらの表記をするのかをメディア数で調べた。見出しに「きょうだい」表記が確認できたメディアが29の中で、【兄妹】が20（69%）、【きょうだい】が9（31%）であった。両方の表記を使用するメディアもそれぞれの表記で数を数えたが、【兄妹】を見出しに使用するメディアが大多数であることが分かる。

見出しに【兄妹】表記が多い理由として、見出しとは、限られた文字数で読者を内容に惹きこむための印象的なものでなければならない。そのために【きょうだい】とするよりも、一目で2人の兄と妹の関係性を理解できる【兄妹】が多く用いられたのではないか。また、文字数の関係でも二文字で簡潔に見える【兄妹】が採用されやすいという見方もできる。

次にメディアの「きょうだい」表記のパターンについて調べた。表記パターンとして、「きょうだいと兄妹」を併用する形と、1つの表記を統一的に使用する「兄妹のみ」「きょうだいのみ」の3つがあった。併用する形をとっていたのが12のメディアで、「兄妹のみ」が10（83%）、「きょうだいのみ」が8（67%）だった。

【兄妹】と【きょうだい】を併用しているメディアには、複数の記事を複数の書き手が作成している場合があり、表記が異なっている要因の1つであ

ると考えられる。また、書き手によって表記が異なることもあったので、全ての会社で表記を統一させているわけではないことが分かった。

最後に「きょうだい」に付属する言葉を調べた。「阿部兄妹」、「阿部きょうだい」、「男女のきょうだい」、「性別の異なる日本のきょうだい」、「3きょうだい」が見受けられた。「阿部兄妹」と「阿部きょうだい」は意味的にも音的にも同じであるが、表記が2つに分かれた。

【きょうだい】は、【兄妹】より様々な付属する言葉があった。特に、「男女のきょうだい」、「性別の異なる日本のきょうだい」は特徴的で、【兄妹】には見られない表現だ。これは【きょうだい】に兄弟姉妹の意味が含まれているものの、読者には「きょうだい」構成が伝わりにくいのを考慮して、性別について言及する言葉が付属していると考えられる。一方で、【兄妹】は読み手が漢字の構成で「きょうだい」構成を把握できるため、意味を補う必要性がない。

ではなぜ、意味を補う必要性がない【兄妹】ではなく、ひらがなの【きょうだい】を使用するメディアもあるのか。考えられる理由として、母語話者アンケートで様々な「きょうだい」関係を規範性や、一般的な表記という認識で【兄弟】表記した例があったことから、【兄妹】が「きょうだい」表記の1つという認識がない人への配慮として、あえて【兄妹】ではなくひらがなの【きょうだい】を使用しているということが推察される。

辞書的な意味で言えば、2人の関係性は【兄弟】で表記しても構わない。しかし、血の繋がりを持つ「きょうだい」関係を表す際に、【兄弟】だと字義の影響により読み手が「きょうだい」構成を男2人だと捉える可能性がある。よって、読み手への伝わりやすさを考慮した際に、【兄弟】表記ではなく、【兄妹】、【きょうだい】が使用されるのであろう。

「きょうだい」のメディア表記調査から、日本社会のメディアで扱われる「きょうだい」表記は決して統一的ではなく、読み手の受け取り方を意識して、伝えたいことや目的に応じて柔軟に形を変えたり、言葉を付属したりして使用されていると考えられる。

5.総合的な考察と今後の課題

5-1. 本論のまとめ

本論では、研究課題「日本語教育現場での「きょうだい」表記をどのよ

うに扱うべきか」を検討するために、4つの調査の結果と考察を述べてきた。ここでは改めて本論での調査と明らかにしたことをまとめる。

①日本語教科書分析

6種類の初級用日本語教科書を分析した。調査項目は「きょうだい」の表記、「きょうだい」の教科書中の使われ方、「きょうだい」の意味の3つである。

「きょうだい」は【きょうだい】と【兄弟】表記で示され、「兄弟姉妹」の意味で指導されていることが分かった。教科書ごとに使われ方は様々であるが、問題や例文で「きょうだい」が男女を含むことを示すように設定されている教科書が多い。一方で、【兄弟】に限らない「きょうだい」表記、また表記に関する説明は確認されなかった。

②学習者調査

Googleフォームを利用して、国内外の日本語教育に携わる大学の日本語学習者にアンケート調査を行った。アンケート調査では、日本語の授業で習った「きょうだい」表記と、「きょうだい」表記で困ったこと、難しいと思ったことを答えてもらった。

学習者調査の全体の結果から、日本語の授業で「きょうだい」を【兄弟】として習う学習者が大多数であることが判明した。また、学習者の「きょうだい」表記の認識の差も確認された。

学習者の悩みとして、「きょうだい」表記の多さに起因する表記の仕方の複雑さや、発音が皆同一であることから、聞くだけでは「きょうだい」の男女構成の判別ができないという意見が挙がった。

③母語話者調査

Googleフォームを利用して、母語話者に自分の「きょうだい」、阿部一二三・詩選手の関係、サザエ・カツオ・ワカメの関係性の表記の仕方とその理由を調査した。

母語話者へのアンケート調査を通して、母語話者が2人の男女の「きょうだい」を表記するとなると、【兄弟】に限らない【兄妹】と【姉弟】表記も一般的に用いていることが分かった。また、どの質問でも【兄弟】と【きよ

うだい】より【兄妹】、【姉弟】表記が多くなった。一方で、3人以上の男女の「きょうだい」表記となると、【兄弟】と【きょうだい】を用いる表記が多くなり、表記が難しいと答える回答が多かった。

④メディア調査

(1)「日本経済新聞」「読賣新聞」「毎日新聞」「産経新聞」「朝日新聞」のニュースサイトで、「兄弟、兄妹、姉弟、きょうだい」をそれぞれ検索に掛けた。そして、検索結果の数と「きょうだい」表記が使われている文をまとめる調査を行った。

新聞社ごとの「きょうだい」の表記数と新聞全体の「きょうだい」の表記数は、両者ともに【兄弟】、【きょうだい】が多いという結果となった。

【兄妹】・【姉弟】は単体での使用が多く、数詞を伴わない。【兄弟】も単体での使用が最も多かったが、名詞や数詞を伴っての使用が確認された。【きょうだい】は数詞を伴う使用が多いことが特徴的であった。

(2)「Google」検索を用いて、2021年7月25日に兄と妹で東京オリンピック柔道競技において、金メダルを獲得した阿部一二三選手と詩選手を「阿部一二三 阿部詩」の形で検索した。そして、ニュースサイト・新聞社・出版社・テレビ局が作成したウェブ上の記事を対象に、表記の種類と表記数、見出しと記事中で「きょうだい」表記の比較、「きょうだい」に付属する言葉を調べた。

表記の種類は【兄妹】と【きょうだい】の2つのみで、表記数は、総数が112の中で【兄妹】が67（60%）、【きょうだい】が45（40%）だった。

見出しと記事の表記数の比較では、見出しと記事共に【きょうだい】より【兄妹】が多く使用されていた。また、見出しに【兄妹】、【きょうだい】のどちらの表記をするのかをメディア数で調べると、【兄妹】を見出しに使用するメディアが大多数であった。

付属する言葉は、【きょうだい】表記になると、【兄妹】より様々であった。特に、「男女のきょうだい」、「性別の異なる日本のきょうだい」は特徴的で、【兄妹】表記には見られない言葉である。

5-2. 日本語教育での「きょうだい」の扱い方

今回、「きょうだい」表記に関する4つの調査を行うことで、日本語教科書と日本社会での使い方の差が明らかになった。

日本語教育の教科書では表記が【兄弟】か【きょうだい】のみで、そのほかの表記への言及もなかった。学習者が共通して学習する表記は【兄弟】であるが、その他の表記を「きょうだい」と認識しているかは学習者ごとに異なっている。一方で、母語話者は【兄弟】、【きょうだい】に捉われず、人数や性別を考慮して【兄妹】、【姉弟】と使い分けをしている。日本のメディアも、統一的に「きょうだい」表記を使うわけではなく、目的に応じて形を柔軟に変えている。よって、日本社会での使われ方との乖離が明白なのである。

両者の間に乖離が生じるのは、言葉の性質によるものだと考えられる。日本語の「きょうだい」は前述の通り、「目的や使う人の考え方によって表記や使い方が変化する」という柔軟性や創造性が認められる。一方で教科書では日本の国語教育で【兄弟】が指導されているように、規範性の観点から社会の共通認識のもとで使用される漢字として統一的に【兄弟】が使われている。

では、柔軟性と創造性の性格を併せ持つ「きょうだい」を日本語教育でどのように扱うか。「きょうだい」の性質上、「きょうだい」表記の「正しい使い方」を指導することは困難である。しかし教室活動の一例として、内容重視の批判的日本語教育(Critical Content-Based Instruction: CCBI)の考えを取り込んだ佐藤・ロチャー松井・熊谷(2015)の文字プロジェクトが参考になると考えられる。

佐藤他(2015)が提唱するCCBIとは、「クリティカルな姿勢・視点をもつ自律的な生涯学習者を育てる」ことが教育理念であり、初期の段階から学習者自身が自分で考え、分析し、その内容に責任を持って外へ伝えて行く力を育成する内容重視の日本語教育である。

文字プロジェクトでは、カタカナの使用法を主題としていた。教師が指導するのではなく、学習者が実際のカタカナの使用例と教科書の用法を比較・分析し、その結果から実際にカタカナを創造的に使用するのである。最後には、教科書への批判的な考察から、それに対しての関わり方を考えた。学習者に文字プロジェクトに関するアンケート調査を行い、その回答から文字プロジェクトは言語と知識を学び、クリティカルな視点・姿勢を持つことも学べる可能性があるとして評価している。

「きょうだい」に関しても実際の日本社会と教科書の使われ方との比較・分析を通して、学習者の「きょうだい」や様々な「きょうだい」構成の「きょうだい」を表記し、なぜそのように表記したか意見交換をする教室活動が考えられる。実際の使用と教科書の用法の比較・分析から教科書が全てではないということに気づくことが可能である。また、比較・分析をした結果を基に「きょうだい」表記をするので、「きょうだい」の特徴に気づくと同時に、創造的に「きょうだい」表記を使用することができる。そして最後に行う意見交換は、他の学習者や教師に伝える力を育み、外部と繋がる場となるだろう。

柔軟性や創造性の性質で「きょうだい」表記の使用法の正しさを見出すことは難しい。よって、日本語教育の中で「きょうだい」表記の扱い方を考える際、正しい扱いはまだないと言っていいだろう。しかし、その性質から初期段階の学習者が批判的な見方や言語知識を身につけたり、学習言語への興味がわいたりするような様々な活動を考えることは可能だ。また、母語話者でも迷う「きょうだい」表記だからこそ、教師が一方的に教えるのではなく、教師も学習者と共に「きょうだい」表記を考えることで、新しい見方や学びが生まれると考える。

5-3. 今後の課題

本研究では、日本語教育現場での「きょうだい」表記の扱い方を検討するために、4つの調査を進めてきた。その調査の1つ、母語話者を対象にしたアンケートでは女性の回答に偏ってしまった。年齢別に見ても10代、20代が中心で、60代以上の回答を得られなかった。女性の回答が多いということは、兄と妹や姉と弟など、【兄弟】以外の「きょうだい」構成が見られ、様々な「きょうだい」表記の回答が確認できるという利点がある。しかし、多くの回答を得るために性別、年代、職業などの条件を限定しなかったが、筆者の周囲にいる人物にしか調査が及ばなかった。男性や高年層の視点を取り入れて偏りを無くすことで、アンケート調査の信憑性を高められるとともに、男女別や年齢別で「きょうだい」表記の意識が異なるかという新たな調査が可能になるであろう。

さらに今回「きょうだい」を表記の観点から調査してきたが、学習者から聞き取り上の問題を指摘する声が上がった。アンケートに答えた学習者は、

全ての表記が「きょうだい」と発音されることから、話し言葉の「きょうだい」が特定の「きょうだい」を表すと思っているようだった。しかし母語話者が話し言葉として「きょうだい」を使用する際、武井（1982）は兄弟姉妹を含むものとして用いられていると述べている。確かに、相手に「きょうだいはいますか。」と聞く際、「兄弟、兄妹、姉弟、姉妹」のいずれかを意図して問いかけているのではない。ここから、表記と同様に母語話者と学習者で認識に違いが見られることが分かる。

表記の観点以外に話し言葉に着目することで、総合的な「きょうだい」の扱いの検討が可能であると考えられる。話し言葉の観点から日本語教科書・学習者・母語話者・日本社会での使い方や意識の違いを明らかにし、日本語教育で話し言葉の「きょうだい」をどのように扱うべきかを検討することを今後の課題としたい。

参考文献

- 小森由里（2002）「日本語教育における親族語彙—初級日本語教科書の分析—」,『ICU比較文化』34,p.73
- 佐藤慎司・ロチャー松井恭子・熊谷由理（2018）「実践編 初級日本語の文字プロジェクト」,佐藤慎司・高見智子・神吉宇一・熊谷由理（編著）『未来を創ることばの教育をめざして：内容重視の批判的言語教育（Critical Content-Based Instruction）の理論と実践』,日本語教育学研究 6,コ出版,pp.125-150
- 薛鳴（2000）「親族名称に見られる関係表示：日本語と中国語の比較から」,『社会言語科学』2(2),pp.43-57
- 武井睦雄（1982）「親族語彙の歴史」,森岡健二・前田富祺・柏谷嘉弘・佐藤喜代治・松岡洸司・武井睦雄・宮地敦子（編著）『講座日本語学4（語彙史）』明治書院,p.120

辞書

- 『古典基礎語辞典』角川学芸出版社,2011
- 『日本国語大事典 第二版 第四巻』小学館,2001
- 『学研 現代新国語辞典 改定第六版』株式会社学研プラス,2017
- 『三省堂 類語新辞典』株式会社三省堂,2005

調査対象教科書

- 『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク,2012
『げんき 第3版発行』ジャパンタイムズ出版,2020
『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 かつどう』三修社,2014
『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 りかい』三修社,2014
『できる日本語』アルク,2011
『改訂版 毎日使えてしっかり身につく はじめよう日本語初級1 メインテキスト』スリーエーネットワーク,2007
『BASIC KANJI BOOK—基本漢字500— VOL.1』凡人社,2011

添付資料

4.4 メディアの表記調査

(2) Google検索における阿部一二三、詩選手の関係性表す「きょうだい」表記調査

閲覧日 2021年8月31日

①NHK NEWS WEB

- ・https://www3.nhk.or.jp/news/special/2020news/special/article_20210726_01.html
- ・<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210725/k10013159581000.html>

②Sports Graphic Number <https://number.bunshun.jp/articles/-/849048>

③web Sportiva https://sportiva.shueisha.co.jp/clm/othersports/flight/2021/07/26/post_45/

④デイリースポーツ

- ・<https://www.daily.co.jp/olympic/tokyo2020/2021/07/26/0014534297.shtml>
- ・<https://www.daily.co.jp/olympic/tokyo2020/2021/07/26/0014534293.shtml>
- ・<https://www.daily.co.jp/gossip/2021/07/26/0014534148.shtml>
- ・<https://www.daily.co.jp/olympic/tokyo2020/2021/07/26/0014534311.shtml>
- ・<https://www.daily.co.jp/olympic/tokyo2020/2021/08/01/0014553808.shtml>

⑤ 読賣新聞オンライン <https://www.yomiuri.co.jp/olympic/2020/20210725-OYT1T50220/>

⑥ スポーツ報知

- ・ <https://hochi.news/articles/20210726-OHT1T51131.html?page=1>
- ・ <https://hochi.news/articles/20210725-OHT1T51293.html>
- ・ <https://hochi.news/articles/20210725-OHT1T51300.html>
- ・ <https://hochi.news/articles/20210726-OHT1T51038.html>

⑦ 日刊スポーツ

- ・ <https://www.nikkansports.com/olympic/tokyo2020/judo/news/202107260000198.html>
- ・ <https://www.nikkansports.com/olympic/tokyo2020/judo/news/202107260000300.html>
- ・ <https://www.nikkansports.com/olympic/tokyo2020/judo/news/202107250000888.html>

⑧ テレ朝news

- ・ https://news.tv-asahi.co.jp/news_sports/articles/000223642.html
- ・ https://news.tv-asahi.co.jp/news_sports/articles/000223638.html

⑨ サンケイスポーツ

- ・ https://www.sanspo.com/article/20210726-RK5WVY352Z03NIE5WJYJ7SJ6RY/?outputType=theme_tokyo2020
- ・ https://www.sanspo.com/article/20210726-7DDJRI3PKJJSNJ2H6ZTBBFJUHA/?outputType=theme_tokyo2020
- ・ https://www.sanspo.com/article/20210801-UXJMS7BWZVIJBFMVJP2HAUNI2U/?outputType=theme_tokyo2020

⑩ デイリー新潮

- ・ <https://www.dailyshincho.jp/article/2021/07271715/?all=1>
- ・ <https://www.dailyshincho.jp/article/2021/07281725/?all=1>
- ・ <https://www.dailyshincho.jp/article/2021/07280602/?all=1&page=1>

⑪ NEWS ポストセブン <https://news.goo.ne.jp/article/postseven/sports/postseven-1678397.html?isp=00002>

⑫ 神戸新聞 NEXT

- ・ <https://www.kobe-np.co.jp/news/sports/202108/0014553730.shtml>
- ・ <https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/202107/0014533671.shtml>

- ⑬東京新聞 TOKYO WEB <https://www.tokyo-np.co.jp/article/119365>
- ⑭産経新聞 https://www.sankei.com/article/20210726-F7UMAKEEI5O5ZDWH5QOADKT2QI/?outputType=theme_tokyo2020
- ⑮Nagano Nippo Web ⑯北海道新聞 どうしん電子版 ⑰上毛新聞
記事削除
- ⑱中日新聞 <https://www.chunichi.co.jp/article/297844>
- ⑲スポニチアネックス
- ・ <https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2021/07/26/kiji/20210726s00006000247000c.html>
 - ・ <https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2021/07/26/kiji/20210726s00041000424000c.html>
 - ・ <https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2021/07/28/kiji/20210728s00006000384000c.html>
 - ・ <https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2021/07/26/kiji/20210726s00006000097000c.html>
- ⑳THE DIGEST
- ・ https://thedigestweb.com/topics_detail13/id=44263
 - ・ https://thedigestweb.com/topics_detail13/id=44355
 - ・ https://thedigestweb.com/topics_detail13/id=44255
- ㉑東スポWeb
- ・ <https://www.tokyo-sports.co.jp/sports/judo/3466545/>
 - ・ <https://www.tokyo-sports.co.jp/sports/judo/3466215/>
 - ・ <https://www.tokyo-sports.co.jp/sports/judo/3466290/>
- ㉒女性自身 <https://jisin.jp/sport/2003605/>
- ㉓サンテレビNEWS <https://sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2021/07/26/41008/>

- ②④ 日刊ゲンダイDIGITAL <https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/sports/292391>
- ②⑤ nippon.com <https://www.nippon.com/ja/news/reu20210725KBN2EV0C3/>
- ②⑥ ABEMA TIMES <https://times.abema.tv/articles/-/8667939>
- ②⑦ THE ANSWER
- ・ <https://the-ans.jp/coaching/176121/>
 - ・ <https://the-ans.jp/analysis/175917/>
- ②⑧ 東京中日スポーツ <https://www.chunichi.co.jp/article/298228>
- ②⑨ BBN Sports <https://www.bbm-japan.com/article/detail/22413>
- ③⑩ 時事通信 <https://www.jiji.com/jc/article?k=2021072500210&g=sports>